



子どもを守るための
ネットリテラシー
～楽しいポートボール活動～

2025/05/17

土師校区

ネットリテラシーとは？

「インターネットの利便性や危険性について理解し、
適切に活用する能力」

どんな危険性があるのか？

今回は主にSNSの利用について

「うちのチームはSNSをやっていないから大丈夫」とはなりません
意外な落とし穴があるので見ていきましょう

ケース① SNSの情報から追跡(ストーカー)

とあるクラブ活動ではSNSに活動情報を掲載していた。

ある時、児童の一人が見知らぬ大人に後をつけられ声をかけられた。

その際「〇〇ちゃん、次の試合□□小学校だよね？応援に行くね」と

名前と次のクラブ活動の予定まで把握されていた。

幸い大事には至らなかったが、児童は大変怖い経験をした。

ケース① SNSの情報から追跡(ストーカー)

SNSには次のような文章と対象児童の写真が掲載されていた。

=====
優秀選手賞は〇〇ちゃんが受賞！

来週の□□小学校での大会も頑張ります！
=====



- 写真と氏名を掲載したことで個人名を特定
- 「いつ」「どこ」にいるかの情報を記載している

ケース② 誹謗中傷

とある校区のクラブ活動ではSNSに活動情報を掲載していた。

ある試合の掲載に関し、対戦相手の親御さんから連絡があった。

「うちのチームを馬鹿にしている。そちらとは二度と試合しません。」

この話が他チームにも広がり、他チームからも試合申し込みを断られる事態に発展しました。

ケース② 誹謗中傷

SNSには次のような文章が掲載されていた。

=====

〇〇チームさんと対戦

60-20と圧倒的な実力差で勝利！

うちのチームは日頃からしっかり練習しているので結果が出ました！

=====



- 「圧倒的な実力差」で相手を見下しているかのような発言
- 相手チームがちゃんと練習していないかのような発言

ケース③ 保護者のSNS利用

とある校区ではSNSは利用していませんでした。

ところがある試合の後、他校区から

「うちのチームの子が映った写真が勝手にSNSに掲載されている。」

と連絡がありました。

見せてもらったSNSには

確かに自チームの名前で掲載されており、相手チームのお子さん達の顔がはっきりとわかる写真が掲載されていました。

ケース③ 保護者のSNS利用

SNSのアカウントを確認すると自チームの保護者のアカウント
保護者に確認すると

「写真や動画の利用承諾は子ども会が取っているので、掲載しても良い
と思った。」という話でした。



- 利用承諾を取っているのはあくまで「子ども会」
- 相手チームの利用承諾は取っていない

SNSは手軽に情報発信ができるツール

簡単に子どもを危険に晒したり、トラブルを招いてしまう。

ではSNSは利用しないほうが良いのか？

だからこそ、正しい知識を持って適切に活用しましょう。

総務省がインターネット利用ガイドを発信しています。
お時間がある時に見てみてください。

総務省 ネット



適切にSNSを利用するために

- SNS利用承諾の取り方
- 写真選び
- 文章の内容

SNS利用承諾の取り方

利用承諾の文面には最低でも下記2文の掲載を推奨します。

- お子さん、**保護者**の写真及び映像を撮影すること。並びに該当写真及び映像を子ども会運営のSNS、市こ協HP及び学校HPに掲載することを承諾します。
- 子ども会活動中の写真及び映像を子ども会の許可なく個人のSNSに投稿しません。

掲載の承諾を取っているのは「子ども会」

保護者が承諾を取っているわけではないので「承諾を取っているからOKでしょ？」ではありません。

※子ども会役員も該当します。個人のSNSに掲載するには別途承諾が必要です。

写真選び

SNSに投稿した写真はインターネット上に半永久的に残ります。
このことをしっかり認識した上で選んでください。具体的には

- 個人を特定できる情報が映っている写真は使わない
氏名は当然、住宅や車のナンバープレート等、お子さん以外の個人情報もNG
- 承諾を取ったお子さんや保護者以外が映っている写真は使わない

「試合の写真を使わないと臨場感が伝わらない」というご意見をよくいただきます。

⇒SNSを使う理由は「子ども会活動の周知・勧誘」のはず。

本当に試合の写真が必要でしょうか？自己満足になっていませんか？

⇒どうしても試合の写真を使いたい場合、

必ず相手チームさんに毎回利用承諾を取ってください。

※一度利用承諾を取ってもメンバーが増えたり事情が変わっている可能性があります

文章の内容

SNSに投稿する文章は以下の内容に注意して作成してください。

- 個人を特定できる内容がないか(個人名やニックネームなど)
- 詳細な活動予定を書いていないか(いつ、どこにいるか)
- 個人または団体を誹謗中傷するような内容がないか

個人を称賛したり活動予定は子ども会のグループLINEで十分です。

見学希望の方を募りたい場合は、「見学希望の方はDMでご連絡ください」など個別にご連絡をいただくように対策を講じることで対応可能です。

お子さんとも話していただきたい内容

昨今ではお子さんもスマホを持っているのが当たり前になっており、簡単にSNSを利用でき我々大人より身近な道具として認識されています。

本人達に悪意がなくとも友達との写真や動画を

簡単にインターネットにアップロードできてしまいます。

ご家庭によってはアップロードを禁止されていることもあるため、

友達同士でトラブルに発展してしまうこともあります。

子ども会活動だけではなく、友達との何気ない写真や動画の扱いについてお子さんと改めてお話いただけると幸いです。

最後に

子ども会加入者が減少していつている現在

SNSを活用して加入者を増やそうという試みはとても良い活動です。

しかし間違った使い方をしてしまうと子ども会の信用を落としてしまい逆にお子さんたちが去っていくことになりかねません。

正しく利用して楽しい子ども会活動を運営していきましょう。

質疑応答

Q：おすすめのSNS運用方法は？

A：鍵付きアカウントの利用、関係のない第三者は許可しない

文章のチェックはChatGPTなどのAIを利用する

（不快に感じない文章にして、などの条件を付ける）

SNSにアップロードする前に、別の方にチェックしてもらう

Q：活動の写真を顔にモザイクをかけているが問題はあるか？

A：モザイクでもユニフォームの柄や背番号で特定が可能なケースがある為避けた方が良い

※どうしても掲載したい場合は相手側の許可を必ず取る

（その際、対象の写真を相手側にもチェックしてもらうとトラブル回避に繋がる）

Q：顔にモザイク処理を施した、過去にアップロード済みの画像はどう処理すべきか？

A：特定困難な程度に修正し直す、又は削除推奨

難しい場合、閲覧可能者を鍵付きアカウントで制限し、

これからアップする分と過去分を分けて運用し直す

Q：鍵付きアカウントにて写真(加工なし)をインスタグラムで共有しているが問題あるか？

A：身内のみであればOKだが第三者がいる場合はNG（どこで流出するか分からない為）

講師より

これぐらいなら大丈夫...ではなく判断に少しでも迷った場合は

校区代表などを通し相談する様に心掛け、正しくSNSを活用して下さい

文章のAI活用例

ChatGPTやCopilotなど、生成AIと呼ばれるツールを使えば文章が苦手な方でも良い感じの文章を作成できます。

・ Copilotを使った例

次の文章を見た人が不快に感じない文章にして

〇〇チームさんと対戦！

60-20の圧倒的大差で勝利！

うちのチームは普段からしっかり練習しているので、結果に繋がりました！
また対戦よろしくお祈いします！



実行するとこうなります

〇〇チームさんとの試合、楽しく対戦させていただきました！

結果は60-20で勝利となりましたが、互いに全力を尽くした試合だったと思います。

日頃の練習の成果を発揮できたことを嬉しく思います。

またご一緒できる機会を楽しみにしています！よろしくお祈いします！